



「おおいたものづくり企業ガイドブック」は商工労政課で配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます！



製造品出荷額九州第1位である本市には、金属加工をはじめ、機械器具製造などの各分野において「キラリと光るものづくり企業」が数多くあります。「おおいたものづくり企業ガイドブック」には優れた技術や製品を広くPRし、販路拡大の促進を図ることを目的として、掲載企業65社の強みや独自技術、高いシェアを誇る製品などの情報を掲載しています。本市では企業誘致活動や首都圏等で開催される見本市等をはじめ、深刻化している人手不足を踏まえ、U・I・ターンの相談窓口や、若者の市内就職および定着を促進するため、県内の学生や生徒等の就職支援や進路指導等にも活用しています。企業の皆さまのお取引の拡大などにぜひお役立てください！



キラリと光るものづくり企業の情報が満載！ おおいたものづくり企業ガイドブック

商工労政課 ☎585・6011



令和初の夏を彩り およそ43万人が訪れた大分七夕まつり

8月2日～4日にかけて開催された大分七夕まつり。市内中心部商店街が趣向を凝らした色鮮やかな七夕飾りで彩られ、まつりムードを高めていました。

初日に行われた^{ふないぼっちゃん}府内戦紙では、武者絵や昇り龍をモチーフにした勇壮な21基の山車が登場。総勢約4,500人がダイナミックに練り歩き観客を魅了しました。

2日目は、バトンやマーチングバンドによるパレードでスタート。毎年恒例の「おおいた市民おどりの祭典」や「太鼓大会」などに加え、秋に開幕するラグビーワールドカップを見据えたイベントも開催しました。フィナーレには来場者が夢と希望を乗せたシャボン玉を空高く飛ばし、48万人の広場は幻想的な雰囲気になりました。

最終日は大分合同新聞花火大会が行われ、およそ6,500発の花火が夏の夜空を華やかに彩り、訪れた人たちを笑顔にしていました。



『おおいたものづくり企業ガイドブック』 掲載企業の声



ニシジマ精機株式会社
代表取締役社長 西嶋 真由伸

自社の強みや独自技術を教えてください

大分工場は2015年にM&Aにより、下郡工業団地の他社の事業を引き継いだ事業所であり、市内に本社のある西日本電線(株)で使用する電線製造ラインの設備製作やメンテナンスを手掛けています。引き継いだ人材が電線設備製造や修理等について豊富な知識を有しているほか、大型物件を取り扱う本社(佐伯市)の特色も生かしながら、自社内で一貫生産できることが強みだと思います。自社技術についても、2018年に打ち上げられた小型環境観測衛星「てんこう」の共同開発プロジェクトに県内の

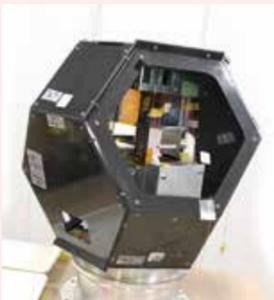
企業3社とともに参加し、過酷な宇宙環境に耐える内部構造体の製作に携わるなど、その研さんに努めています。

ガイドブックをどのように活用されていますか？

県外企業との商談時に活用しています。技術の高さが求められるのは当然ですが、ガイドブックへの掲載も私たちがとの取引を検討するうえで判断材料の一つになるのではないのでしょうか。また、合同企業説明会等において、学生等に地元大分には素晴らしい技術をもった企業があることも紹介させていただいています。

今後の展望をお聞かせください

「てんこう」の共同開発プロジェクトに参加した経験を生かし、昨年は飛行機部品を扱うために必要な国際規格ISO100を取得、今年の1月から航空事業をスタートさせました。今後は宇宙事業への参入を目指し、新しい分野にも積極的に挑戦していきたいと思えます。



小型環境観測衛星「てんこう」